

日本語教育学会 国際交流基金  
公開シンポジウム



JAPAN FOUNDATION

# 日本語教育におけるアーティキュレーション（連続性）

— 国際的な取り組みと日本における課題 —

グローバル化の急速な進行による世界経済の構造的変化、テクノロジーの進歩、ますます多様化する人の移動などにより、日本国内外の日本語教育は今さまざまな課題を抱えています。

海外の日本語教育と国内の日本語教育とのつながり、また、介護・看護の日本語教育や地域における日本語教育・支援なども大きな視野で見えていくことが重要です。

そこで求められるのは、単に教育機関などが「連携」するのではなく、プログラム全体としての「アーティキュレーション（連続性）」です。本シンポジウムでは、アーティキュレーションを軸に、社会の動きに対応した日本語教育、日本語教師養成の新しい方向性を探ります。

2013年

3月23日(土)

14:00~16:30

国際交流基金日本語国際センター ホール

(埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-36)

<http://www.jpff.go.jp/j/urawa/about/access.html>

●主催：日本語教育学会 国際交流基金

●問合せ：Tel 03 - 3262 - 4291

Fax 03 - 5216 - 7552

E-mail [office@nkg.or.jp](mailto:office@nkg.or.jp)

●定員：200名

●参加費：無料

## — プログラム —

開会挨拶 (14:00-14:05)

嶋田和子 (司会・日本語教育学会副会長)

第1部：基調講演 (14:05-14:55)

日本語教育は生き残れるのか：「なぜ」教えるのかを考える

當作靖彦 (カリフォルニア大学サンディエゴ校)

第2部：パネルディスカッション (14:55-16:30)

アーティキュレーションにおけるJF日本語教育スタンダードの活用

横山紀子 (国際交流基金)

グローバル人材育成のためのアーティキュレーション：J-GAP 中国からの留学生を例として

堀井恵子 (武蔵野大学)

一体化する世界のなかで日本語はどう変わりうるのか：暮らしの設計とアーティキュレーション

春原憲一郎 (海外産業人材育成協会)

フロアーとのやり取り

総括

●参加申込み：要メール予約 (定員になり次第受け付けを締め切ります。)

宛先 [webapply@nkg.or.jp](mailto:webapply@nkg.or.jp) (日本語教育学会事務局)

件名 「3月23日シンポジウム参加希望」

本文 参加希望者の氏名・所属を記入



国際交流基金設立40周年

